

～ 宮城県石巻北高校で出前授業を開催しました ～

東北農政局経営支援課

平成 29 年 12 月 8 日（金）、宮城県石巻北高等学校において、総合学科食農系列の 3 年生の皆さんを対象に、出前授業を開催しました。

この出前授業は、農業を勉強している高校生の皆さんに職業としての農業に魅力を感じてもらうため、東北農政局が開催したものです。今回は、仙台市でリーフレタスを中心に露地野菜を生産している、若手農業者の大友裕貴さんに講師をお願いしました。

授業では、まず東北農政局から、農業をめぐる情勢や国の新規就農支援策、女性の活躍を応援する農業女子プロジェクトなどについて、説明しました。



講義中の大友裕貴さん

続いて、大友さんにご講義いただきました。

- 就農直後の月収は 2 万円。全てのプライドを捨て周りに助けを求めたことで、親身に相談に乗ってもらえるようになり、農地や販路の問題を解決できた
- お金は自然には生まれない。人と人とが結びつき、その先にある感謝や恩がお金になって残る
- 農業者になって、人が野菜を育てるのではなく、実は、人が野菜に育てられていることがわかった

などと語り、非農家出身で、サラリーマンを辞めて農業の道を選んだ大友さんが農業を行う中で学び実践してきた農業への真摯で謙虚な姿勢が、自分を成長させ、農業経営を発展させていることを生徒に伝えました。

講義の後に、生徒から質問があり、

（生徒）「何品目つくっていますか。」

（大友）「4 品目です。品目を多くせずに集中することで、コストをかけず、いいものをつくるようにしています。」

（生徒）「農家を辞めたいと思ったことはありますか。」

（大友）「辞めたいと思ったこともあるが、農業は本当に楽しいと感じているので、辞めはしません。」

などといったやりとりが行われました。



出前授業の様子